

1 藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議の位置づけ

藤沢駅南口駅前広場再整備基本計画とりまとめ（平成31年度）

藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議

目的

藤沢駅周辺活性化に資する南口駅前広場のありき姿及びデッキ再整備の方向性にかかる意見、提案をいただく会議。

委員

学識経験者  
市民代表（鵠沼地区）  
地元経済団体（商工会議所・商店会連合会）  
隣接街区等権利者  
鉄道事業者  
藤沢市

連携

藤沢駅南口交通広場調整会議

目的

藤沢駅南口の交通結節機能の向上を目指し、検討素案をベースとして、関係者間の調整を図る会議。

委員

学識経験者  
バス事業者  
タクシー事業者  
鉄道事業者  
藤沢市  
交通管理者（オブザーバー）

1 藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議の位置づけ

藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議

会議の位置づけ

<b>目的</b>	藤沢駅周辺活性化に資する南口駅前広場のあるべき姿及びデッキ再整備の方向性にかかる意見、提案をいただく会議。
<b>委員</b>	学識経験者 市民代表（鵠沼地区） 地元経済団体(商工会議所・商店会連合会) 隣接街区等権利者 鉄道事業者 藤沢市
<b>開催予定</b>	H29年度 3回      H30年度 4回

各回の議題(案)

<b>第1回</b>	本検討会議設立、藤沢駅南口の現状、意見交換	H29年度
<b>第2回</b>	アンケート結果と結果に基づく出席者の意見収集 駅前広場の事例紹介	
<b>第3回</b>	藤沢駅南口駅前広場のあり方、考え方について	
<b>第4回</b>	藤沢駅南口駅前広場再整備の方向性について	H30年度
<b>第5回</b>	藤沢駅南口駅前広場再整備の方向性について	
<b>第6回</b>	藤沢駅南口駅前広場再整備基本計画案について	
<b>第7回</b>	藤沢駅南口駅前広場再整備基本計画案について	

スケジュール(案)

	H29年度							H30年度											
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
交通広場調整会議				★											★			★	
あり方検討会議		★			★		★					★			★		★	★	
藤沢市の動き				アンケート									基本計画案の作成						

## 2 第4回あり方検討会議における意見

### 第4回の意見まとめ

#### <デッキについて>

- ▶ 駅からの動線としてデッキがある前提でビルを建てているため、将来的にもせっかくあるデッキは活かしていただきたい
- ▶ 2階部分に乗換もあり、自由通路も今後整備されることを考えるとデッキレベルに歩行者動線がある方が周辺の商業に対しても有効なのではないか。
- ▶ 駅の改良と合わせてデッキについても検討するべきではないか。小田急線の橋上化によって、人の流動も自由通路も2階レベルが中心になるのではないか。
- ▶ デッキを撤去しても、改めて地上部をきれいに整備すれば、人はそちらから入ってくるだろう。乗換部のデッキのみあれば十分なのではないか。
- ▶ デッキによる回遊性や利便性は無視できないが、地上レベルの歩行動線は視界の抜けや街の認識という観点からも重要である。周辺の街への回遊動線として将来的にも守っていくべきなのではないか。

#### <駅前広場における緑について>

- ▶ 緑はせっかく現在ある資源なので、そういったものは残すべきではないか。
- ▶ 現在、交通島になっている部分は、無駄なスペースのように思える。その場所をなくしてしまえば、よりフレキシブルな駅前広場の使い方ができるのではないか。
- ▶ 現在の眺めるだけの緑ではなく、芝生広場等のふれられるような緑になるとよいのではないか。

#### <藤沢らしさについて>

- ▶ “藤沢らしさ”と言われているものが、ブランディングの観点からは不十分なのではないか。将来的に藤沢駅にどういった層の方に来てもらいたいのかをきちんと考えて、藤沢らしさをより明確で魅力的なものにする必要があるのではないか。

### 本日意見交換したい事項

#### 3 南口駅前広場の再整備の方向性について

- (1) 藤沢らしさを感じられる空間づくりの考え方
  - ―藤沢らしさとして大切にすべきこと
- (2) 南口駅前広場の再整備の方針について
  - ―南口駅前広場の再整備に向けた取組事項
  - ―南口駅前広場の整備イメージ
- (3) デッキのあり方について
  - ―デッキの現在について
  - ―デッキの将来について

### 3 南口駅前広場の再整備の方向性について (1) 現状の主な課題と再整備の方向性

【第4回あり方検討会議の内容（抜粋）】

#### 現状の主な課題

##### ①歩行者

- ◎歩きにくい、見通しが悪い
  - ・歩行者やバス待ちの人が多いが、歩道が狭い
  - ・デッキの柱がある
- ◎交差点での歩行者と車両交通の交錯
- ◎デッキのバリアフリーが困難
  - ・昇降施設の設置やデッキ面の勾配の解消が困難
- ◎鉄道間や鉄道とバス、タクシーとの乗り換えがわかりにくい。不便。

##### ②バス・タクシー・一般車・自転車

- ◎バス、タクシーと自転車、一般車、荷捌き車との交錯
- ◎交差点での自転車とバス、タクシー、一般車の交錯

##### ③にぎわいや駅周辺の再活性化

- ◎駅や駅周辺に人は多くいるが、「にぎわい」はあまり感じられない。活気がない。
- ◎駅と周辺とのつながりが弱い。駅前からまちへ人が流れていかない。
- ◎憩いや交流のための空間がない。藤沢らしさがあまり感じられない。

#### 再整備の方向性

##### ①藤沢駅周辺の再活性化やにぎわい創出の視点

- ・駅の南北の連携など、駅周辺の回遊性の向上
- ・駅周辺でのにぎわい、憩いの空間創出
- ・駅から駅前、駅前から「まち」への人やにぎわいの流れづくり
- ・南口駅周辺の道路が放射状に広がるまちの特徴を活かした人やにぎわいの流れづくり
- ・官民が連携・融合した空間形成・活用やにぎわい創出の取組

##### ②次の世代を見据えた、交通結節点機能向上の視点

- ・誰もが歩きやすい歩行空間の形成
- ・歩行者、自転車、バス、タクシー、一般車の通行の安全性の向上
- ・乗り換えのわかりやすさや利便性の向上

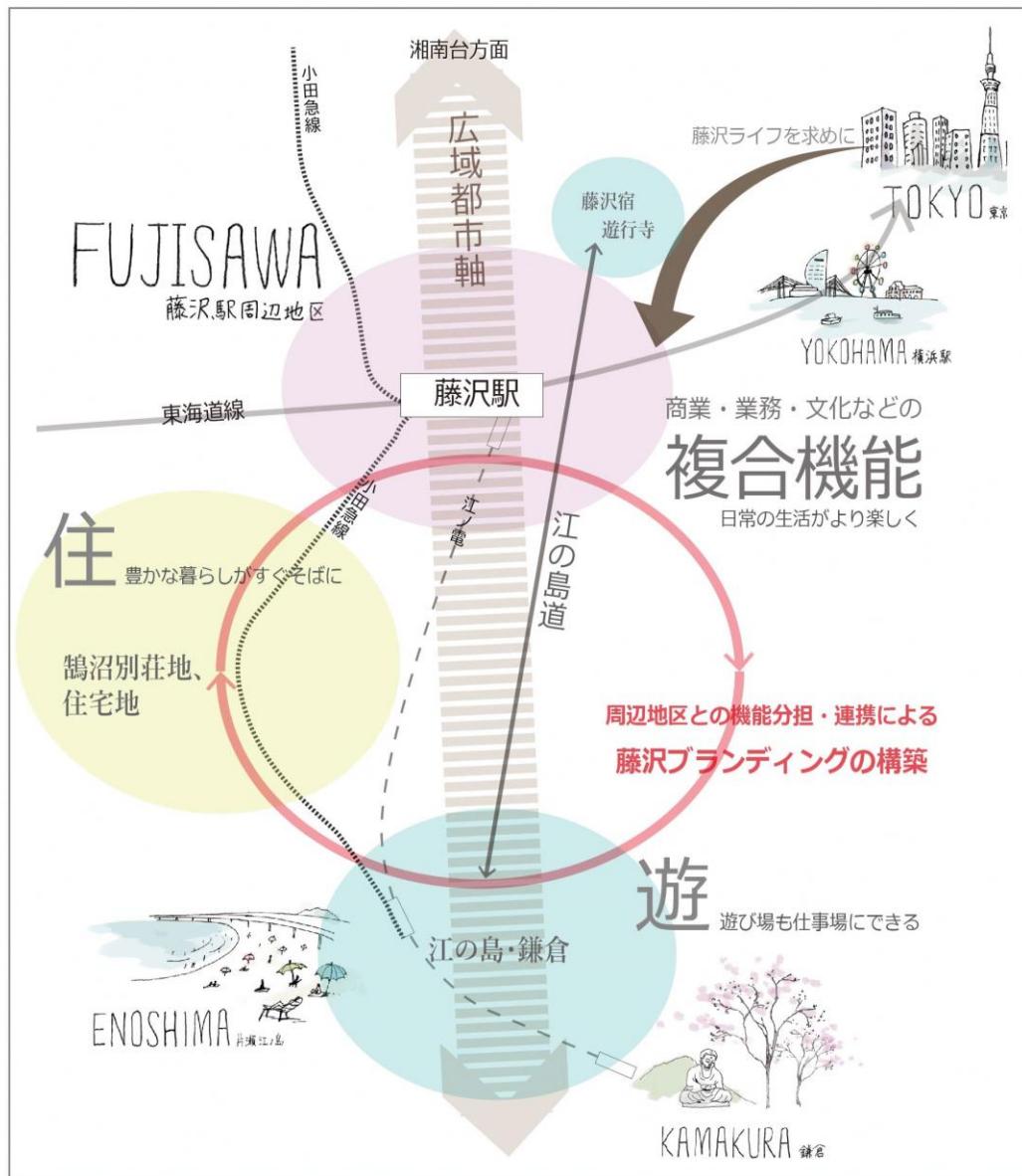
##### ③藤沢都心部・湘南の玄関口としての視点

- ・藤沢らしさや特色がにじみ出る空間デザイン  
(例) 「明るい」「ほっとする」「開放感」「ゆったり」「緑」「潮風」等
- ・藤沢というブランドを育てる
- ・発信力を高める  
(例) 「江の島」「湘南」「富士山」の活用等

### 3 南口駅前広場の再整備の方向性について (2) 藤沢らしさを感じられる空間づくりの考え方

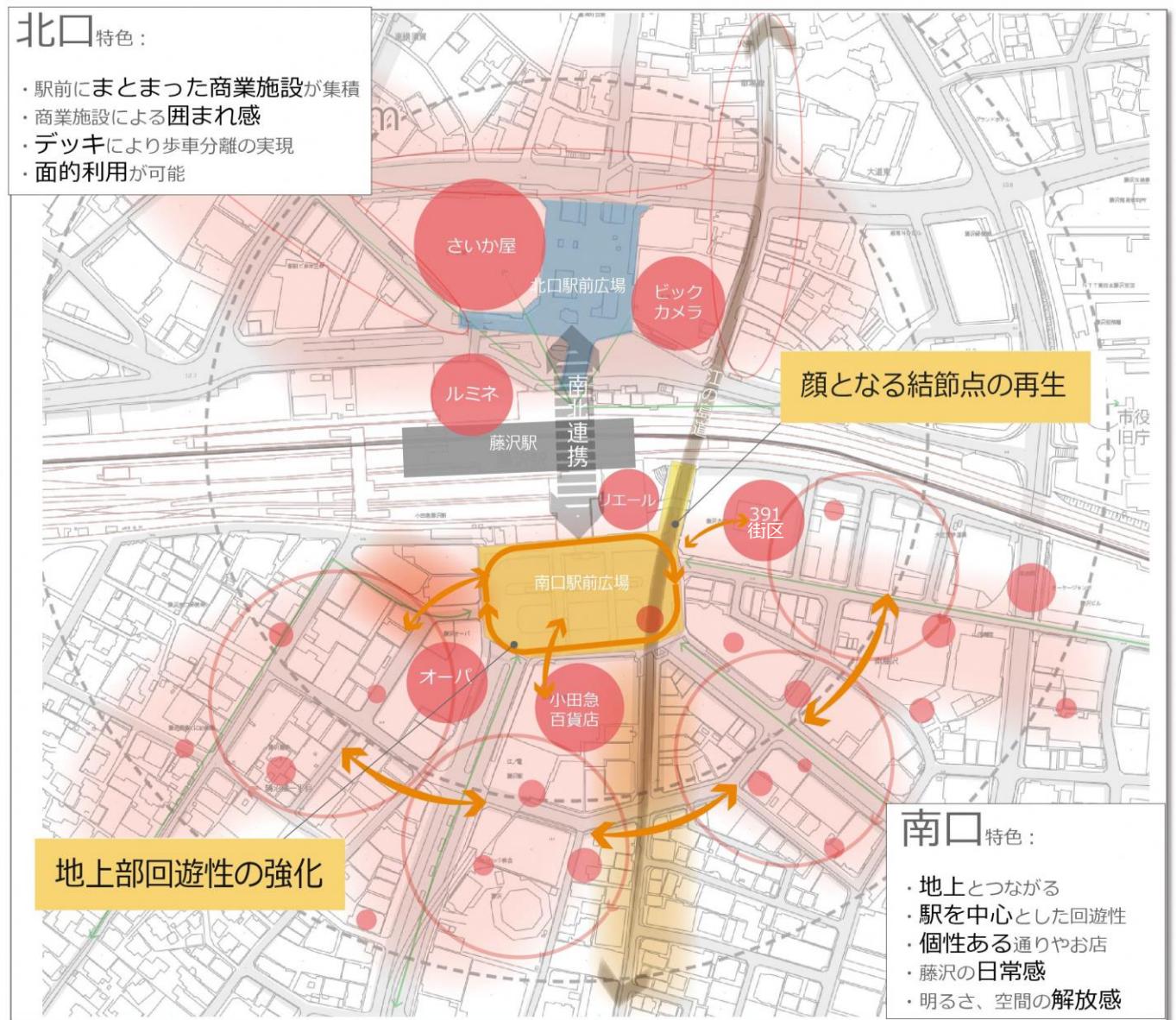
#### 広域から見た藤沢駅周辺の位置づけ

- ・ 鉄道3路線が結節する交通利便性を有し、湘南の玄関口
- ・ 市の都心及び広域交流拠点として、南北間の連携を強化した多機能回遊型の中心市街地
- ・ 江の島・鎌倉、高級住宅街など、周辺地区との機能連携による藤沢ブランディングの構築



#### 南北のまちの特徴から見た藤沢駅南口

- ・ 北口側はデッキ上に広がるまとまった歩行者空間があり、建物に囲まれたスペースを面的に活用されている。
- ・ 一方で、南口側は周辺へ接続する放射上の道路によって、それぞれの街の顔が見え隠れする空間となっている。
- ・ 南口の特徴を活かし、地上部回遊性の強化や顔となる都市の結節点の再生を目指す



### 3 南口駅前広場の再整備の方向性について (2) 藤沢らしさを感じられる空間づくりの考え方

#### ワークショップで抽出された藤沢らしさ

##### < 藤沢の魅力・資源 >

##### まち全体の印象

- ▶ 平均点を少し上回った生活
- ▶ 古いまちであるが、高級住宅地・別荘地
- ▶ 潮風、明るい、暖かい、柔らかい、優しいといったイメージがある湘南の中心地



マツ並木の続く住宅地



湘南海岸



南口駅前広場

第2回あり方検討会議より

##### 環境・気候

- ▶ 緑が豊かで気候も暖かく住みやすい場所
- ▶ 駅から富士山が見える景色
- ▶ ほっとするような空気感がある
- ▶ 湘南らしいかっこよさ、センスのよさを感じる



地域に大切に守り育てられてきた石川丸山谷戸



高台の善行公園から望む富士山



四季を通じて楽しめる新林公園

##### 観光資源

- ▶ 観光資源が豊かなまち（江ノ電・江の島、花火大会、箱根駅伝、遊行寺、藤沢宿）



湘南・江の島



江ノ電の走る風景



時宗総本山（遊行寺）

#### 広域から見た藤沢駅周辺の位置づけ

- ・ 広域的な交通拠点であること
- ・ 市の玄関口であること
- ・ 交通の利便性と暮らしやすさの両立した魅力的な居住地であること

#### 南北のまちの特徴から見た藤沢駅南口

- ・ 商業が放射状に広がる特徴があり、住宅地がすぐそばにある市民に開かれた場であること
- ・ 江の島へ続く道や鉄道がある観光への入り口であること

#### ワークショップで抽出された藤沢らしさ

- ・ 自然や気候に恵まれた住宅地でのひと回り上の、ゆとりのある暮らし
- ・ 江の島や湘南といった海辺を中心とした湘南らしい独自の文化やイメージがあること
- ・ 藤沢宿や遊行寺を中心とした歴史的観光資源

→ これら要素を感じられるような  
藤沢らしい魅力ある空間づくりを目指す

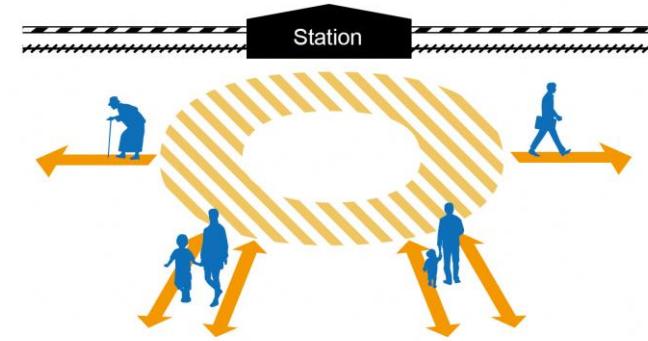
3 南口駅前広場の再整備の方向性について  
 (3) 南口駅前広場再整備の方針について

① 再整備の方針

方針①

歩きやすい歩行空間の整備と周辺のまちへのつながりの強化

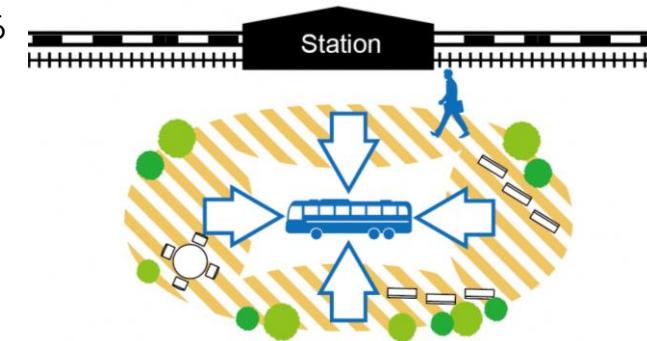
- ▶ 段差解消や勾配軽減等のバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮するとともに、歩行者の安全性を高め、誰にとっても移動のしやすい快適で安全な歩行空間づくりを行う。
- ▶ 周辺の街区や商業施設とのにぎわいの連続性を向上させ、人々がまち全体を回遊しやすくなるような駅前広場を整備する。



方針②

歩道と車道のバランスを整え、市民が居場所として過ごせる広場づくり

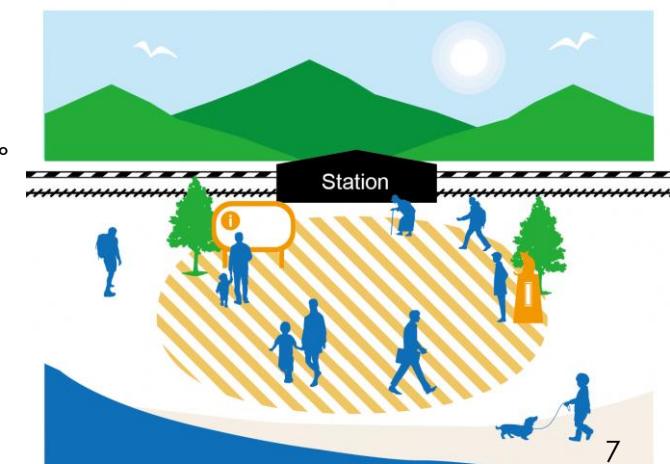
- ▶ 駅前広場内に必要な機能の整理を行い、車道空間と歩道空間の再配分することで広場内に滞留する空間を創出するとともに、車道空間についても、交錯している車両の整序化を図り、安全性を高める。
- ▶ 現状の通り過ぎてしまうだけの駅前広場に市民が過ごせる滞留スペースを新たに整備する。
- ▶ ちょっとしたイベントや、休憩、こどもが遊べるような機能を設ける。また、その場所を適切に使われるように維持管理を行い、居心地のよい場づくりをする。



方針③

藤沢らしさ、特色が感じられる魅力的な空間づくり

- ▶ 藤沢の資源（海が近い温暖な気候や、落ち着いた豊かな暮らし、江の島や藤沢宿等の歴史的資源等）も活かし、駅前広場のデザインとして藤沢らしさを取り入れることで、全体的な雰囲気も含めて魅力的な空間づくりを行う。
- ▶ 湘南、藤沢の玄関口として、観光案内や藤沢の魅力をアピールできるような機能づくりを行う。
- ▶ 待ち合わせや来街者への目印となるようなシンボル機能について検討を行う。



3 南口駅前広場の再整備の方向性について

(3) 南口駅前広場再整備の方針について

② 再整備の方針に対応した取組事項

方針① 歩きやすい歩道の整備と周辺の街へのつながりの強化

取組事項

- ①-1 地上部の歩いて心地よい空間づくり  
→駅前広場を囲む歩行者動線を現況よりも拡幅し、広々として歩いて心地よい空間にする。
- ①-2 街の個性がにじみだす空間づくり  
→周辺の街の個性がにじみだすような空間を随所に設け、駅前広場と周辺の街へのつながりを高める。

方針② 歩道と車道のバランスを整え、市民が居場所として過ごせる広場づくり

取組事項

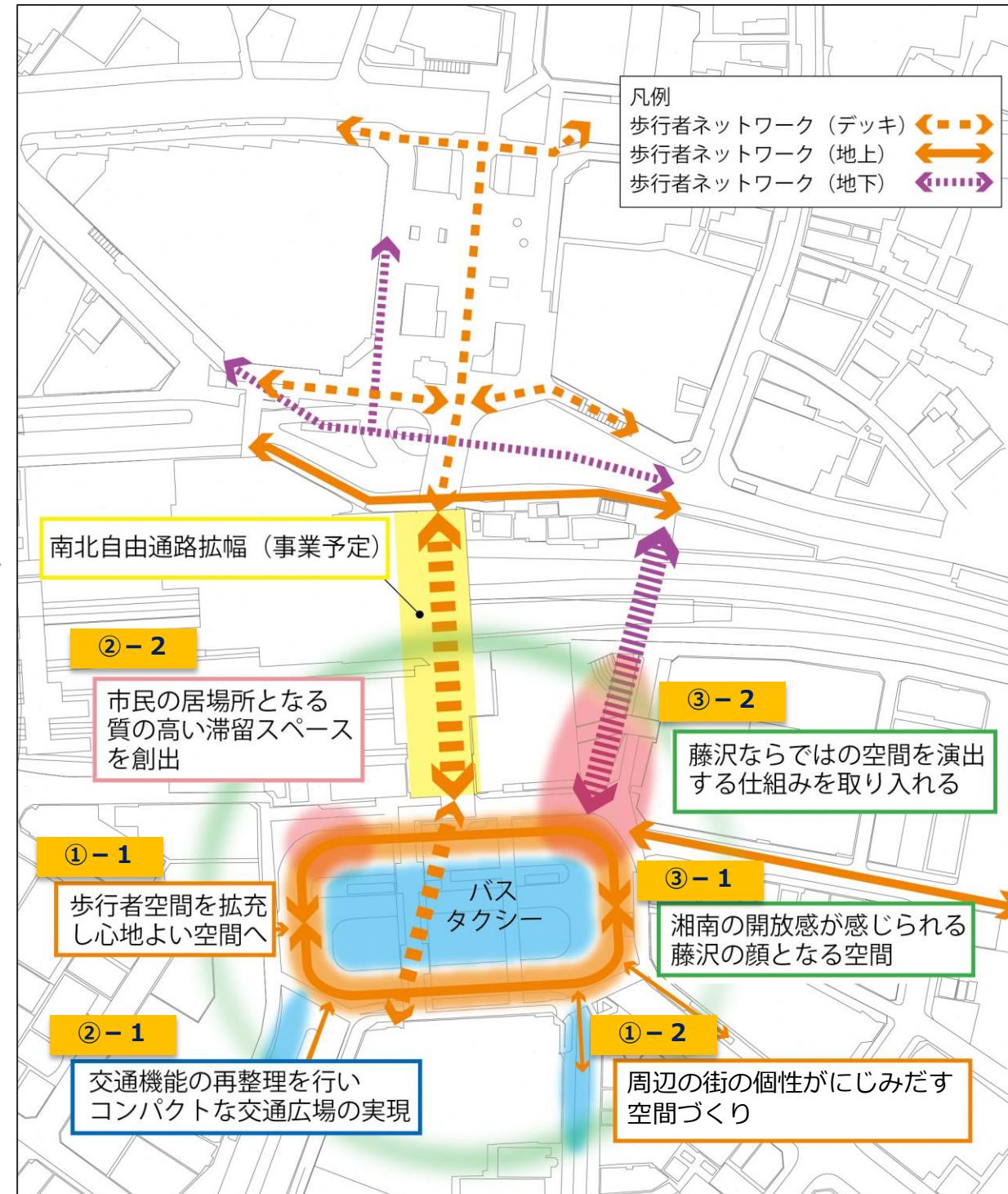
- ②-1 交通広場へ導入する機能の再整理  
→交通広場は公共交通（バス・タクシー）を中心とし、安全性を向上し、コンパクトな広場とする。車両動線などを再検討し、スペースの効率化と、周辺施設へのアクセス性の向上を図る。
- ②-2 市民の居場所となる広場を生み出す  
→駅前広場に空間的な余裕をつくりだし、市民が使うことのできる空間と仕掛けを設ける。

方針③ 藤沢ならではの魅力を取り入れた空間づくり

取組事項

- ③-1 湘南の開放感を感じられる、藤沢の顔となる空間づくり  
→地上部においては開放感のある明るい駅前広場を目指す  
→歴史的な江の島道と、江ノ電旧路線の2つの軸線をデザインに取り込むことで、湘南の海とのつながりを感じられる、藤沢の顔となる空間づくり。
- ③-2 藤沢ならではの空間を演出する  
→藤沢の広い空やゆったりと流れる空気感を演出するため、集まる、座る、休む、緑に触れる等が出来るさまざまな仕組みを取り入れる。

■整備の考え方（案）



3 南口駅前広場の再整備の方向性について  
(3) 南口駅前広場再整備の方針について

③ 再整備の方針を踏まえた地上部の空間イメージ

※将来の整備の考え方を示したイメージ図で、  
広場の具体的な配置や車道空間について示したものではありません

現況

計画

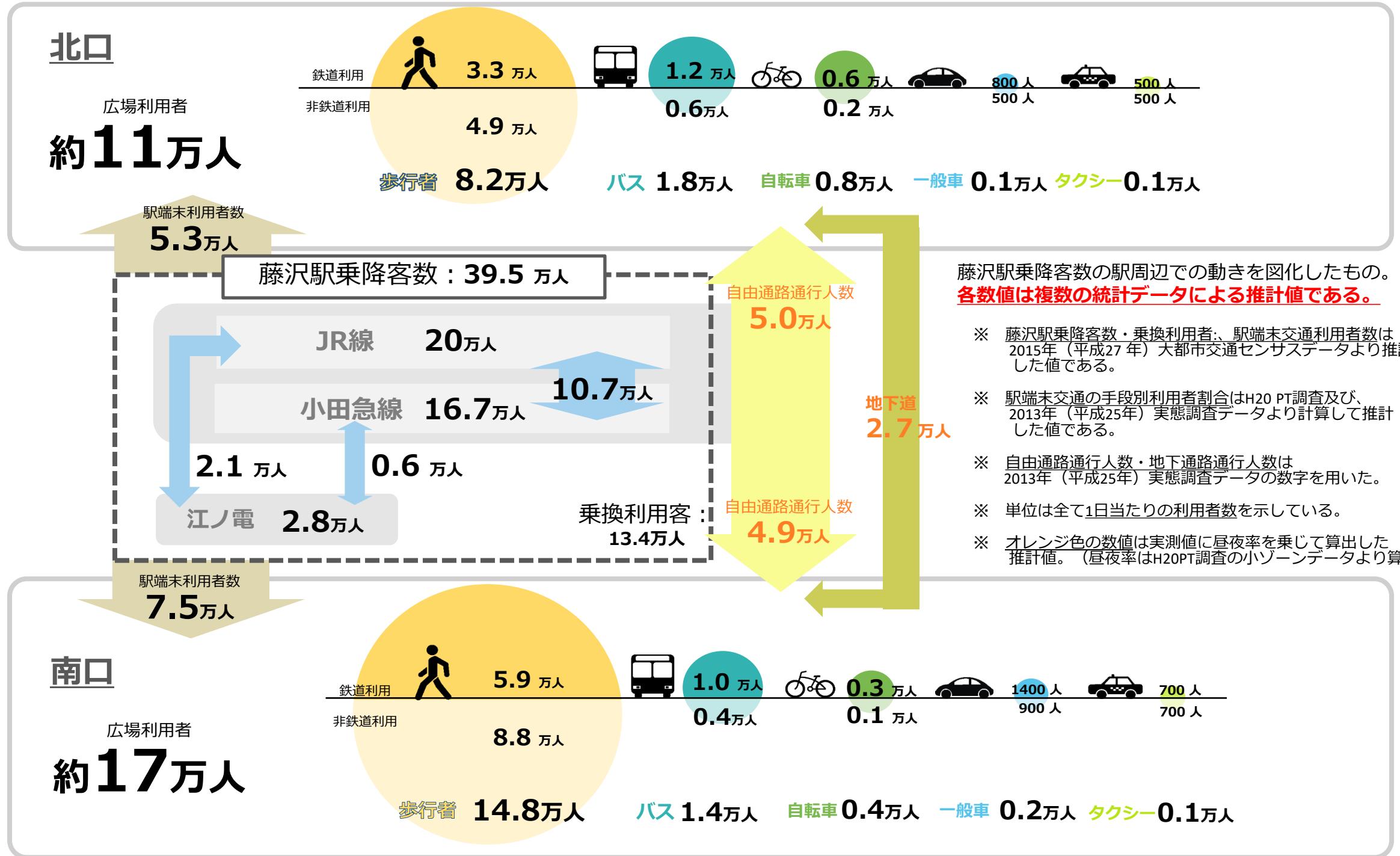


- 交通機能をコンパクトに集約し、広い歩行者空間を確保する
- 現在の交通島の植栽帯は撤去し、歩行者空間に緑を配置する

3 南口駅前広場の再整備の方向性について  
 (4) デッキのあり方について

① 南北駅前広場の利用者動向

※24時間当たり



- 現在の乗り換え利用者は全体で2.7万人ほどであり、これらの人々の多くはデッキを利用していると考えられる
- 南口駅前広場に来る人々は鉄道利用者だけでなく、駅周辺を目的としている方が多くいる。

### 3 南口駅前広場の再整備の方向性について

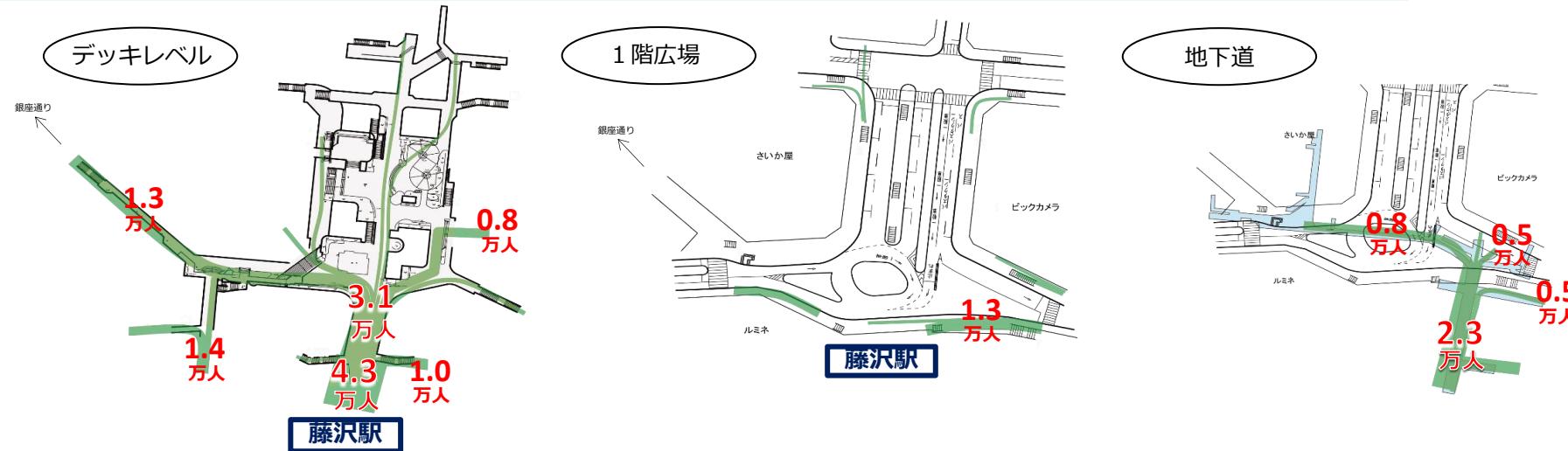
#### (4) デッキのあり方について

##### ② 南北駅前広場の方向別利用者の動向

###### 北口

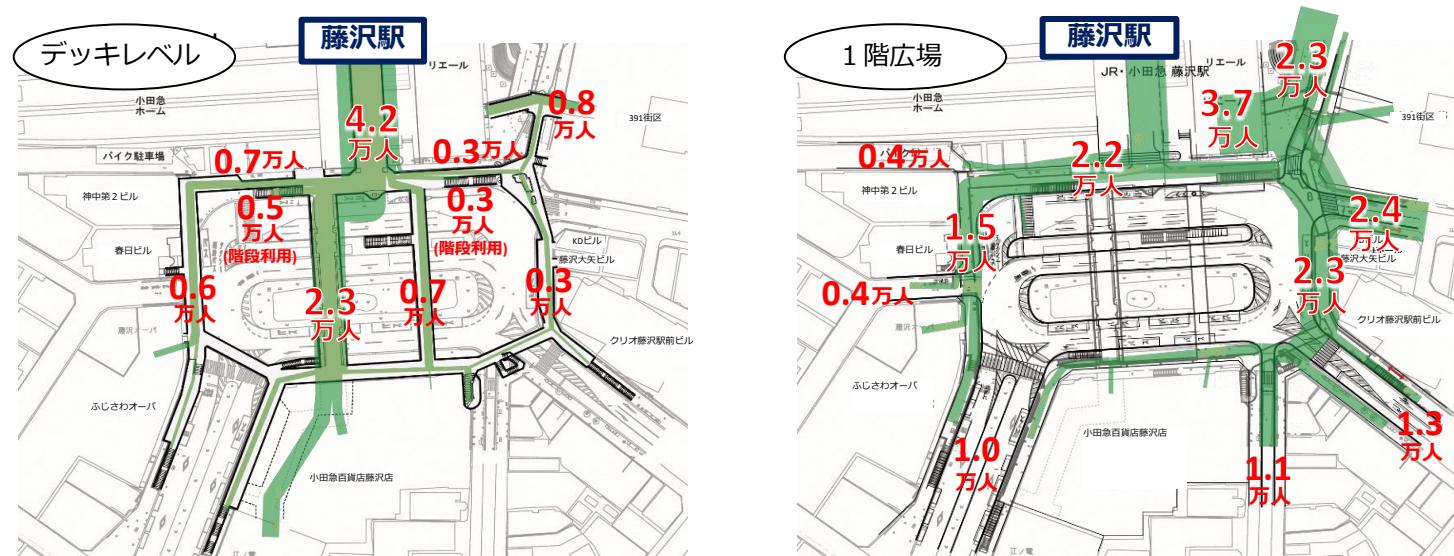
- ・北口広場では、デッキの流動が多く、次に地下での流動が多い。
- ・デッキにおいては、銀座通り方面への流動が多い。東側ビル、北側への流動が次に多い。
- ・地上では、東西方向、特に市役所方面の流動が多い。ルミネ前、銀座通り方面も多いと想定される。
- ・地下では、南北横断の断面交通量が最も多い。北口において、西側への流動も多い。

※数字は12時間当たりの人数  
(7:00~19:00)



###### 南口

- ・南口広場は、地上の方が街への歩行者が多い。
- ・デッキにおいては、小田急百貨店や江ノ島電鉄への乗り換え利用が多いと考えられる。
- ・地上では、リエール東側の出入口の利用が多く、それらの歩行者は北側への地下通路、東側及び南側市街地へと流動している。
- ・街の東側と南側の行き来も多いと想定される。



- ・ 実態調査では、自由通路と小田急百貨店をつなぐデッキ部において、2.3万人の方が利用しており、もっとも利用されている部分である。
- ・ 一方で、周辺の建物側面の利用者は少なく、同じ断面部でも地上を通行している人の割合が多い。
- ・ 地上部においては、特に地下から名店ビル等の前や、東方面に向かう部分が利用者割合として大きくなっている。



3 南口駅前広場の再整備の方向性について

(4) デッキのあり方について

③ デッキの現況課題

南口デッキの課題1. . . . . 歩きにくくバリアフリー対応がなされていない

■ : デッキ 上 → 下 : 勾配

⑥ エレベーターは駅に設置されているもののみ



① 駅を出てすぐに急な下り坂や長い階段

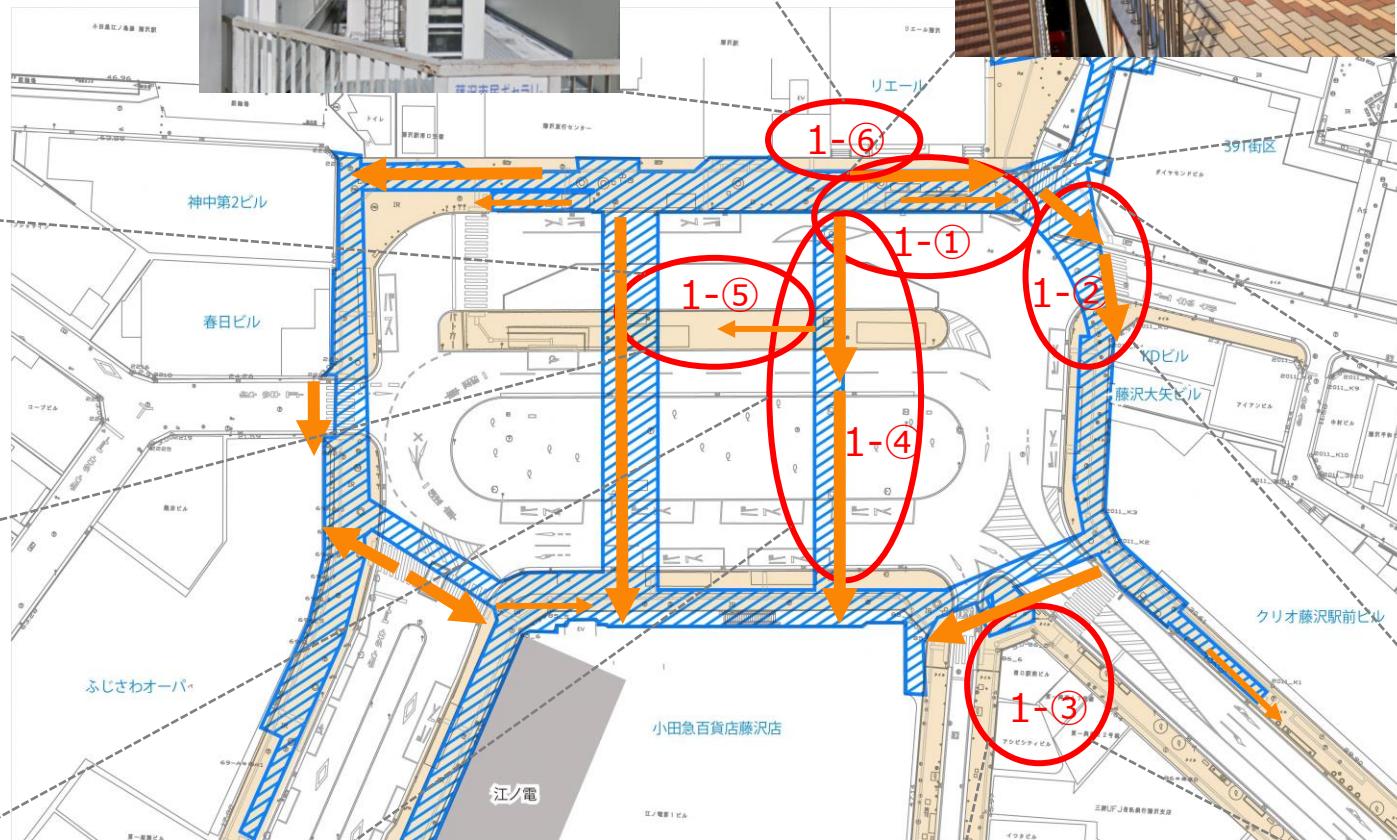


(リエール藤沢前)

⑤ 身障者用を含む送迎車を降車後の長い階段



(リエール藤沢前連絡デッキの接続階段)



② 複雑な勾配になっている



(ダイヤモンドビルとKDビルの間)

④ ②と同様に複雑な勾配



(リエール藤沢前から伸びるデッキ)

③ 螺旋状で長い階段



(ファミリー通り横)

3 南口駅前広場の再整備の方向性について  
(4) デッキのあり方について

③ デッキの現況課題

■ : デッキ

南口デッキの課題2. . . . . 地上の歩行者空間を阻害している

⑧ 雨が吹き込むためシェルター型バス停



(春日ビル前)

① デッキで視界を遮られる南口駅前



(南北連絡通路南口側)

② 柱が多く歩行者空間が狭い



(地上：クリオ藤沢駅前ビル前)

⑦ 柱が多く閉塞感がある

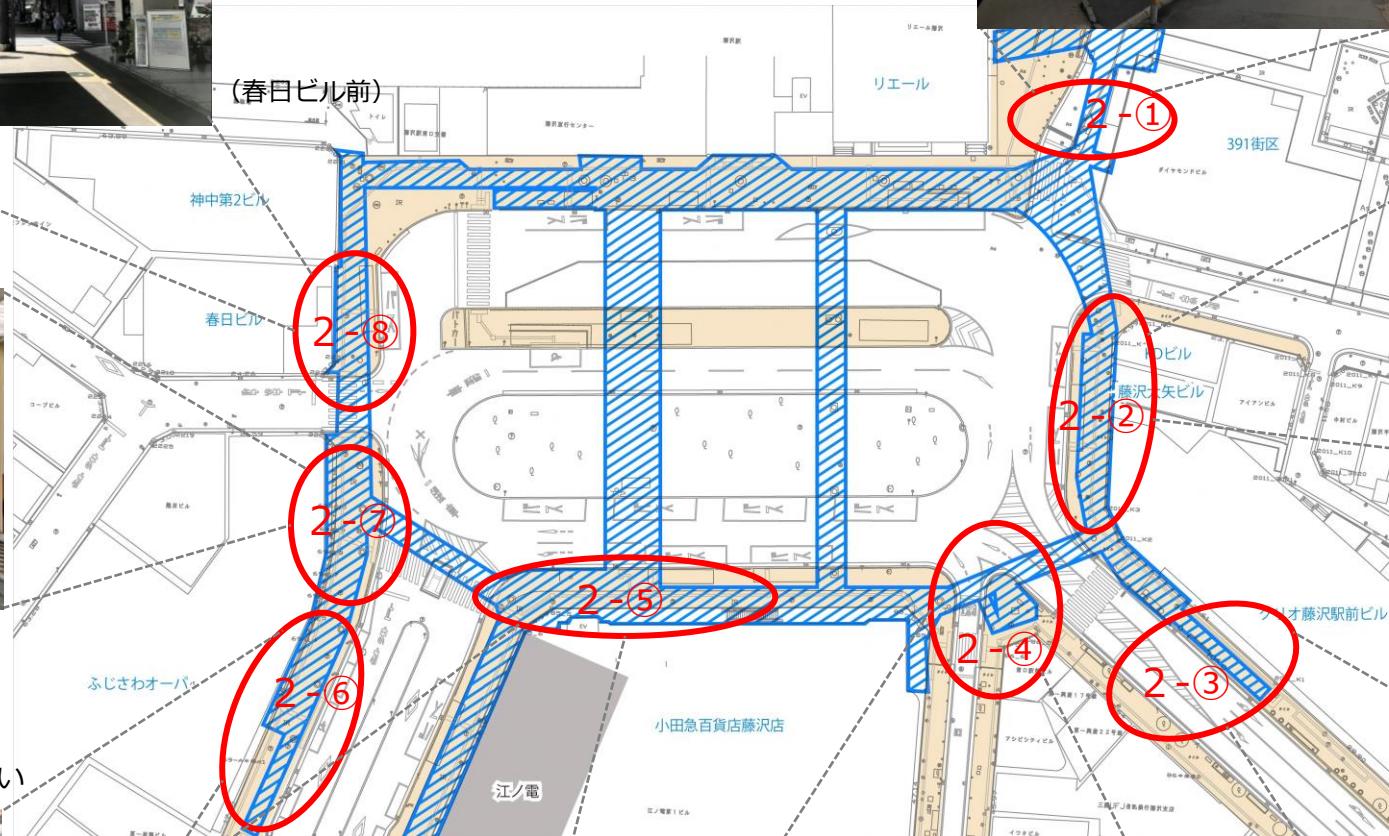


(地上：藤沢オーパ前)

⑥ ③と同様に歩行者空間が狭い



(藤沢オーパと小田急百貨店の横)



⑤ デッキと階段で店舗の入り口が暗い



(地上：小田急百貨店前)

④ 階段下の空間と横断歩道の動線分析



(ファミリー通り螺旋階段)

③ 階段があるため一部歩道が狭くなる



(クリオ藤沢駅前ビル横)

3 南口駅前広場の再整備の方向性について

(4) デッキのあり方について

④ 現況及び将来を見据えたデッキのあり方

■現状のデッキの効用

- 2階レベルでの周辺建物との接続により、駅から駅周辺へのアクセス性・回遊性を高める
- 歩行者と車両の分離

■現状のデッキの課題

- 急こう配や長い階段が多い
- またデッキ自体に昇降施設の設置がないため、歩きにくくバリアフリー対応がなされていない



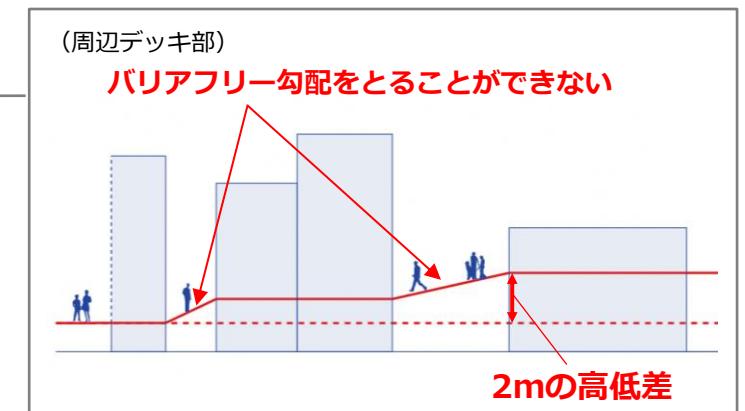
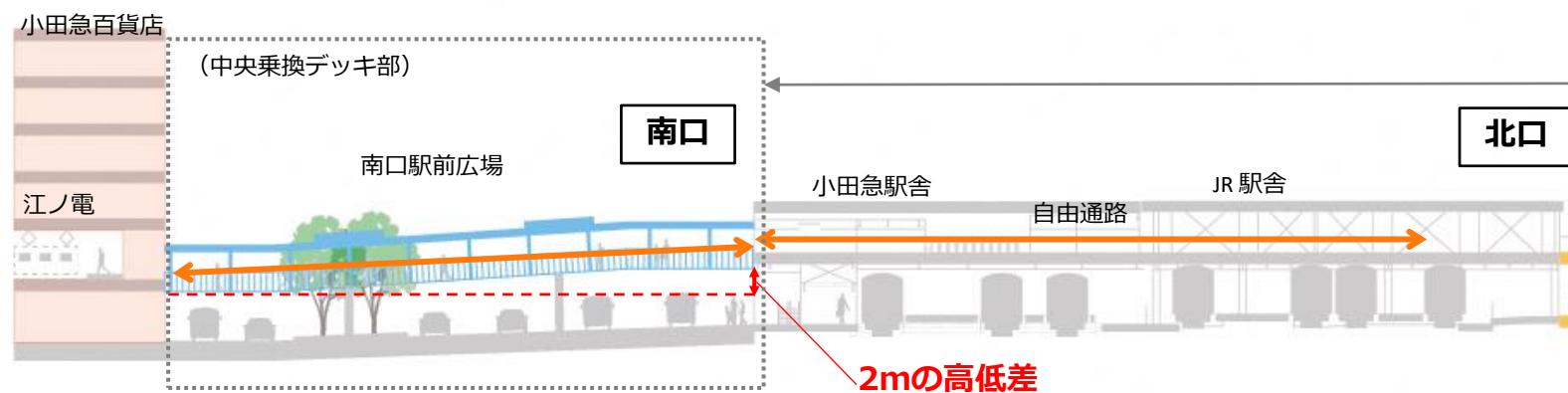
- デッキの柱や階段により歩道が狭くなる等、地上の歩行者空間が阻害されている



■将来のデッキネットワークの課題

- JR駅・小田急駅・自由通路側の高さ和小田急百貨店・江ノ電側の高さの差が約2mあるため、南口駅前広場を2階レベルで横断しようとする、必然的に高低差が出てしまう。

→周辺デッキについては、公共施設としてバリアフリー基準に適合したデッキを再構築するのは困難

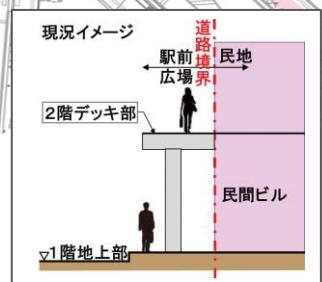
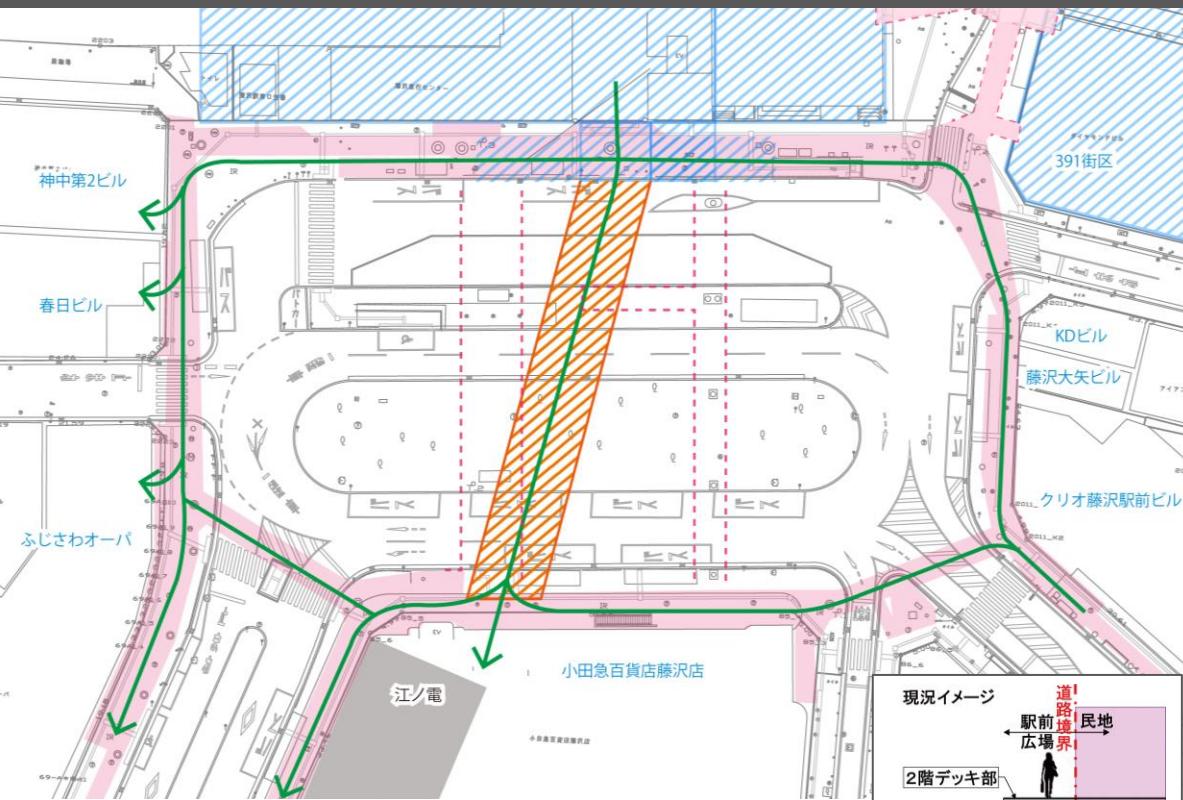


■藤沢らしさが感じられる空間形成の必要性 (p.8 再整備方針 取組事項③-1)

湘南の開放感を感じられる、藤沢の顔となる空間づくりを目指し、将来デッキネットワークの再整備を考える必要がある。

3 南口駅前広場の再整備の方向性について  
 (4) デッキのあり方について  
 ④ 現況及び将来を見据えたデッキのあり方  
 ▶ 藤沢らしい魅力ある空間づくりへ

第1段階 南口駅前広場再整備完了&中央デッキ架け替え



自由通路等の整備後、南口駅前広場を再整備  
 - 南口駅前広場の地上部の再整備  
 - 乗り換え用のデッキを再整備

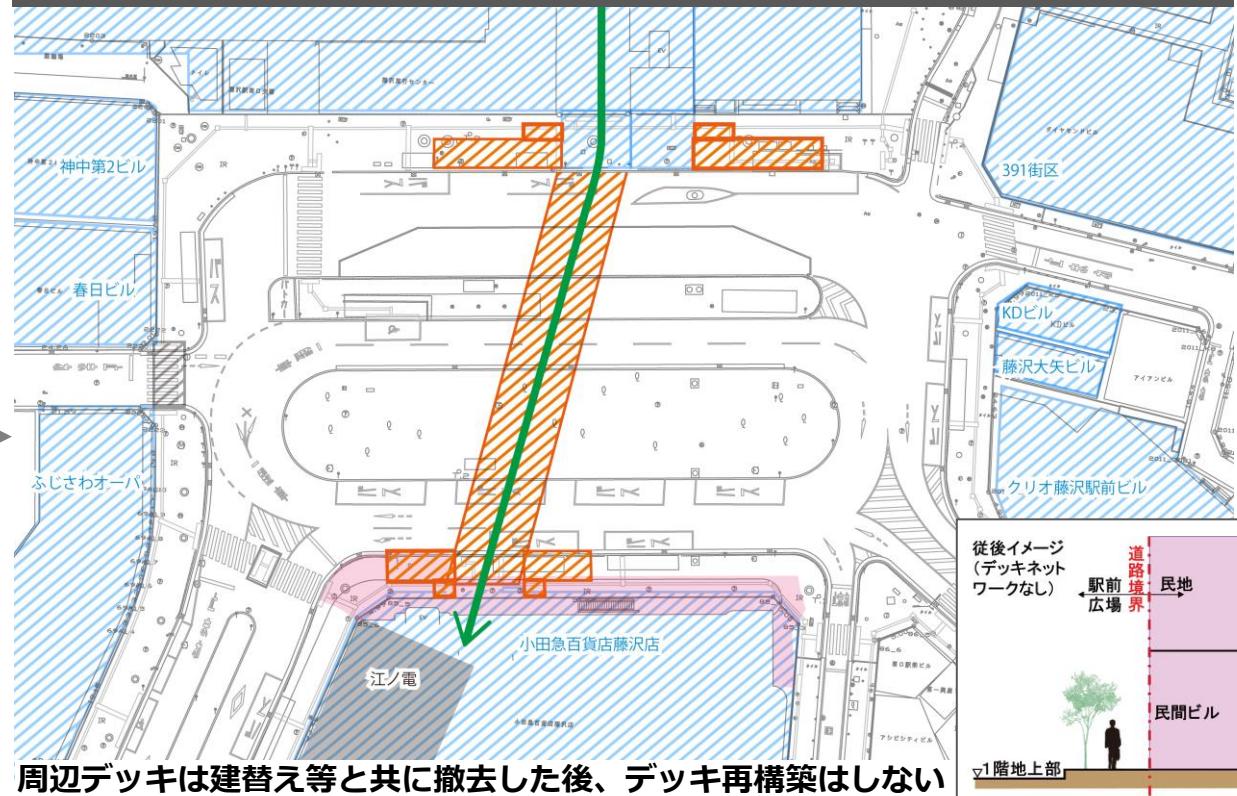
⇒ 周辺建物の建替え等が起るまでは、既存のデッキはそのまま活用し続ける

◇ デッキ再構築に係るイメージ例

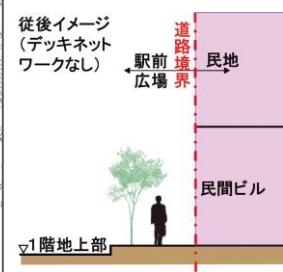
オーパ付近	【現況】	【デッキが無い場合】	イメージスケッチ
			デッキレベル 地上レベル

デッキネットワークを民地と協力し、再構築することで、街から地上、デッキレベル双方への視通が確保され双方が生きてくる。

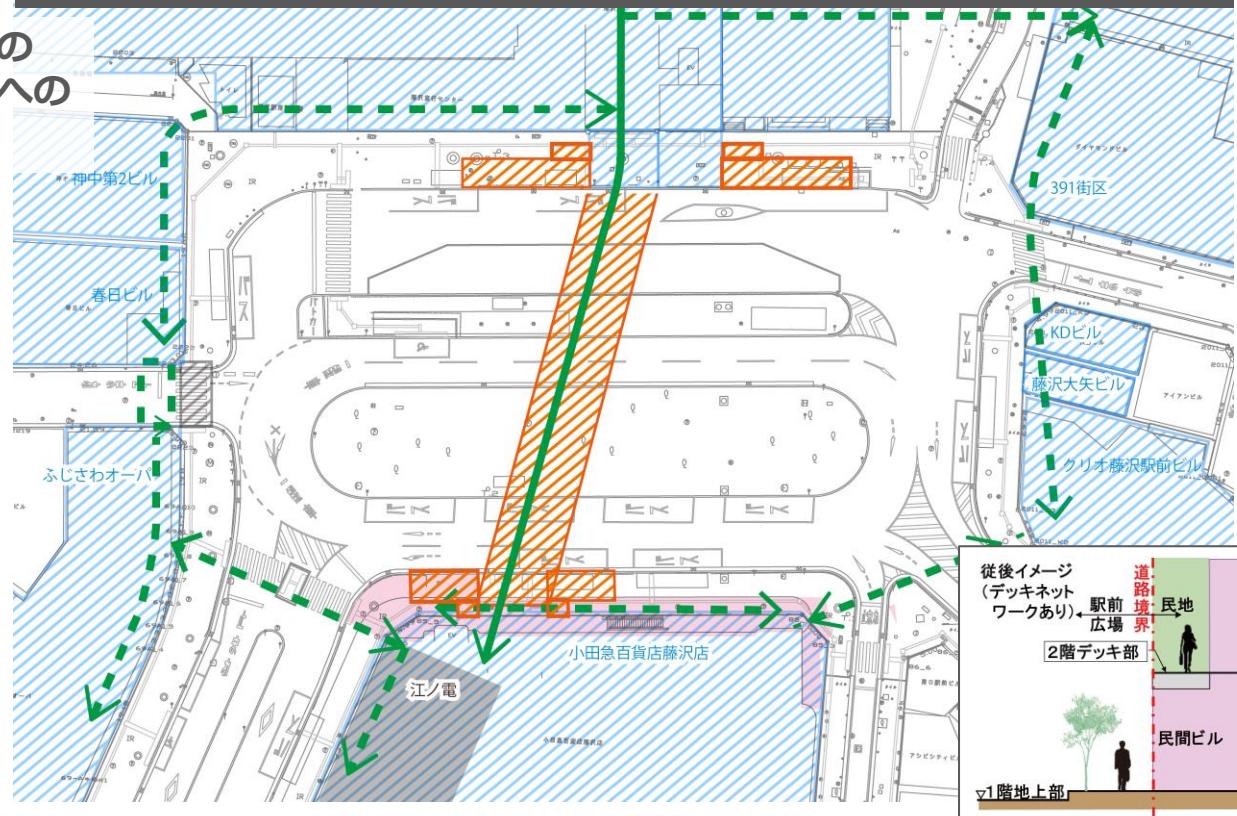
第2段階 (30~50年後) CASE 1 周辺建物の建替え後の周辺デッキ再構築はしない場合



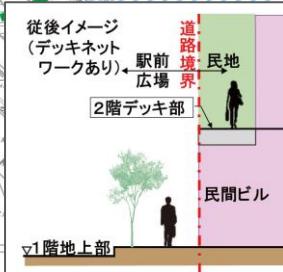
周辺デッキは建替え等と共に撤去した後、デッキ再構築はしない



第2段階 (30~50年後) CASE 2 民間ビル内にデッキネットワークを再構築する場合



周辺デッキは建替え等と共に撤去し、建物内等にネットワークを再構築をする  
 ⇒ 建物更新時期が異なるため、関係者でデッキの高さ、隣接ビルとの接続位置などルールをあらかじめ定めておくことが必要。



隣接権利者のまちづくりへのご協力

これまでの検討と意見

藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議における意見

第1回の意見のまとめ

<藤沢駅の施設について>

- ▶ イベント広場がほしい
- ▶ 鉄道乗り換えがわかりづらい
- ▶ 駅全体としてのバリアフリーが必要

<南口駅前広場のデッキについて>

- ▶ デッキが老朽化して汚い
- ▶ デッキから地上におりる階段が長い

<南口駅前広場の歩行環境について>

- ▶ バリアフル・不便である
- ▶ 駅前広場の配置が車優先となっており歩行者にとって不親切

<周辺とのつながりについて>

- ▶ 駅と周辺をつながり・回遊性が弱い

<ソフト的な取組について>

- ▶ 再整備後の管理や運営等のエリアマネジメントを実施すること

<藤沢駅のイメージについて>

- ▶ 藤沢駅に藤沢らしさがない
  - ・ 藤沢らしさが感じられなくなってきた
  - ・ 活気が感じられにくくなった
  - ・ 駅としてのコンセプトが必要

ワークショップ(第2回)のまとめ

<藤沢らしさ>

まち全体の印象

- ▶ 平均点を少し上回った生活
- ▶ 古いまちであるが、高級住宅地・別荘地
- ▶ 潮風、明るい、暖かい、柔らかい、優しいといったイメージがある湘南の中心地

環境・気候

- ▶ 緑が豊かで気候も暖かく住みやすい場所
- ▶ 駅から富士山が見える景色
- ▶ ほっとするような空気感がある
- ▶ 湘南らしいかっこよさ、センスのよさを感じる

観光資源

- ▶ 観光資源が豊かなまち(江ノ電・江の島、花火大会、箱根駅伝、遊行寺、藤沢宿)

<藤沢駅にあっという間と思う

機能、空間、過ごし方等について>

交通機能

- ▶ 歩きやすい歩行空間(曲線のデッキ、屋根)
- ▶ 気軽に自転車で来られる駅へ

滞留機能

- ▶ 市民が使えるような憩える場所、休憩できる場所
- ▶ 立ち止まれる、くつろぐ、遊べるような、ゆったりとした明るく過ごしやすい空間
- ▶ 食べ歩きや市場、レトロ感のある商店街や飲み屋街
- ▶ イベントや待合わせができる場所や広場

観光・ブランディング・藤沢らしさ

- ▶ 藤沢というブランドを育てる
- ▶ 湘南観光の玄関として立ち寄ってもらうための機能
- ▶ 富士山や江の島が見えるような展望スペース

第3回の意見まとめ

<特色について>

- ▶ 藤沢ならではの「魅力」だけでなく、「特色」を取り入れた空間づくりと変えるべきではないか。また、藤沢の特色・魅力としては「開放感・開放性」といったものがキーワードになる。

<発信力について>

- ▶ “藤沢”を強調しすぎても発信力が弱いため、江の島や湘南といったキーワードが必要になる。

<特色の取り入れ方について>

- ▶ 海を「特色」として、ヨットの形をした街灯を駅前に作るようなことはやめるべきである。「特色」として海を取り入れるとしても、JRの小田原駅のような開放感のある屋根を設け、一体的な駅と駅前広場となる取り入れ方をすべき。

<交通の需要と回遊性について>

- ▶ 南口駅前広場は交通の需要に対して十分な広さはないと思う。回遊性を考えるときに、駅前広場を取り巻くビルでいかに歩行空間を用意し、そこに魅力を持たせ、人が動き回る仕掛けが必要である。

<地下通路へのスロープの可能性について>

- ▶ 現在地下通路へ接続しているスロープ状の斜面は、野外劇場のような空間として人々に活用される可能性があり、391街区で検討されている再開発と併せて検討する必要がある。

<観光に対する考え方について>

- ▶ 観光を目指した駅前広場づくりを目指す前にまずは、市民にとって魅力的な駅前広場をつくること重要である。

これまでの検討と意見

藤沢駅南口交通広場調整会議における意見

第1回の意見のまとめ

<乗り換えについて>

駅全体について

- ▶ 鉄道間の乗り換えがわかりにくい。
- ▶ バス利用者について北口と南口を間違える人が多い。

南口について

- ▶ バス乗り場が分散していてわかりづらい。
- ▶ バス待ち行列が長く、歩行者の通行を妨げている(歩道が狭い)。

<駅前広場内の動線の交錯における課題>

- ▶ 車両が6方向から流出入しており、バスとタクシーの動線が交錯し危険。
- ▶ タクシープール等道路を横断する歩行者が多く、危険。
- ▶ 横断歩道の歩行者の通行量が多く、車との動線が交錯しており、危険。

<駅前広場への一般車の流入における課題>

- ▶ 降雨時等に一般車の流入が増加し、バス運行に遅れが生じる。
- ▶ 周辺商業施設への動線としての一般車動線は必要かもしれないが、駅前広場内や周辺の道路状況としてはうまく棲み分けする必要がある。

<荷捌き車両における課題>

- ▶ 一般車の乗降場や、駅前広場の周辺の道路に荷捌き車両が駐停車しており、他の車両の通行の妨げとなっている。
- ▶ 一般車乗降場で荷をおろし、広場を横断し周辺街区へ運搬しており、危険。

<駅前広場周辺の歩行者における課題>

- ▶ 駅周辺では歩行者の利用が多く、歩行者にとって必要なものを検討すべき。

<周辺の道路状況における課題>

- ▶ 狭い道路が多く、死角も多く危険である。
- ▶ 周辺道路のネットワークが藤沢駅に車両が集中する構造になっている。

<駅前広場に必要な機能について>

- ▶ 南口駅前広場として、受け止めるべき機能と広場の外で解決すべき機能を整理し、駅前広場の運用とマネジメントの方策を検討していくべき。
- 1) 緑地 ▶ 駅前広場の面積に対して、緑地が広すぎるのではないかと。
    - ▶ 規模にもよるが、駅前広場に憩える空間は必要である。
    - ▶ 必ずしも緑豊かな駅前広場が良いというわけではない。
  - 2) 駐輪場 ▶ 駅前広場内での駐輪場整備は難しい。
  - 3) その他 ▶ 駅前広場にあると良い空間を検討していきたい。
    - ▶ イベント等ができる空間があると良い。

第2回の意見のまとめ

<駅前広場内に必要な機能について>

- ▶ バリアフリーや歩行者優先といった考え方も重要と思う一方、バス・タクシーのスペースが狭くなるという難しさがある。バランスが重要。
- ▶ バリアフリー対策として、一般車をあえて駅の一番近い場所に配置する事例もあるので、一般車の配置の考え方について議論すべき。

<交通処理について>

- ▶ 駅前広場外周の民地、あるいは道路と一体となって、荷捌きスペースの確保について考えていく必要がある。
- ▶ ローター内の荷捌きが交通の妨げになるので、対策が必要。
- ▶ 路肩の駐車場も併せて検討すべき。

<駅前広場への出入り動線の考え方について>

- ▶ 駅前広場の出入り動線の考え方について、今後議論を深める必要がある。
- ▶ 駅前広場への出入り動線が変わるとタクシー料金が変な場合があるので、慎重に考えてもらいたい。
- ▶ 多方向から様々な車両が流入する状況について今後の方針を出すべき。

<乗り換えの利便性について>

- ▶ 駅改良による乗り換えの利便性の向上も大事だが、行政と鉄道事業者の連携によるサイン改良についても考えた方が良い。
- ▶ 駅周辺のサインは、駅だけでなく、湘南エリア全体で考えるべき。

<自転車の考え方について>

- ▶ 駅前広場外周部での駐輪場の確保や広場への自転車の進入方法、広場に行くまでの自転車道の整備といった考え方をしっかり計画すべきである。
- ▶ シェアサイクルの導入の可能性について検討した方が良い。
- ▶ 藤沢駅の南北間の移動の利便性を考慮しつつ、駅前広場及び地下道における自転車の位置づけを検討する必要がある。

<配置について>

- ▶ 滞留スペースや藤沢駅の特徴のある空間の具体的な場所については、今後議論を深める必要がある。
- ▶ 駅前広場を考えていくのに、駅舎や駅周辺の建物とどのように連携していくかについて考慮する必要がある。

これまでの検討と意見

アンケートにおける意見

アンケートの意見まとめ

＜南口駅前広場地上部について＞

- 「デッキが屋根代わりとなり雨の日も歩きやすい」の回答が非常に多い。
- 「歩道が広く歩きやすい」「明るい」「緑が多い」の回答も割合が大きい。
- ×「エレベーター・エスカレーターがない」の回答が半数以上あった。
- ×「休める場所がない」の回答も多い。
- ×「江ノ電とJR・小田急の乗換が不便・わかりづらい」の回答も比較的多かった。

＜南口駅前広場デッキ部について＞

- 「安全に通行できる」の回答が多い。
- ×「エレベーター・エスカレーターがない」の回答が半数以上。

＜南口駅前広場に必要機能について＞

- ▶「エレベーター・エスカレーター」「ベンチ休憩スペース」「屋根」「待ち合わせスペース」「案内板地図」の順で多い。

＜藤沢駅の印象について＞

- ▶「ほどよく田舎」「日常の買い物に便利」「商業施設が多い」「江の島、鎌倉、湘南の入り口」「緑が多い」といった意見が多い。
- ▶一方、「老朽化」「狭い・暗い・ごちゃごちゃしている」などネガティブな意見も見られた。

＜南口駅前広場での過ごし方について＞

- ▶「藤沢産のものを買いたい」「くつろげるスペースのある駅前」「イベントができる場所」「駐車場、駐輪場が欲しい」といった要望多くみられた。

